



# 資料館だより

No.14  
2007年  
9月号

過去と未来がひびきあう  
—ようこそ、エコミューズへ。  
[www.aozora.or.jp/shiryou/](http://www.aozora.or.jp/shiryou/)

あおぞら  
財団付属  
**エコミューズ**

## 溝口重夫氏より寄贈 西淀川ゆかりの本箱 70年ぶりに里帰り

昭和初期の西淀川の様子を撮影した映像や、ニュース映像などをこれまでからエコミューズに寄贈していた溝口重夫氏から、今度は「本箱」が寄贈されました(2007年8月16日)。これは大正から昭和初期に作られたもので、重夫氏のお兄様の準一郎氏(当時、中学生)が昭和7年から8年ごろに西淀川区の大和田にあった公設市場の福引で当てたものだそうです。幅85cm、奥行き37cm、高さ127cm。材質はおそらくチーク材とのことで、合板ではなく、一枚板で作られている貴重なものです。



アンティーク本箱



本箱の前で溝口氏

その後、溝口一家は昭和12(1937)年に西淀川から神戸に住まいを移します。今からちょうど70年前です。それ以降は、末息子である重夫氏が現在にいたるまで、この本箱を愛用してきました。このたび、重夫氏が大阪府池田市の現在の住まいから遠方へ引越することになったため、「西淀川ゆかりの本箱なので、西淀川の資料館で保管してほしい」というご本人の申し出を受けることになりました。

重夫氏の自宅で本箱を開けたとき、中には準一郎氏が所有していた大正14(1925)年発行の小説『アンナ・カレーニナ』(岩波)の上・下巻がおさめられていました。準一郎氏は戦死しており、重夫氏にとっては亡くなったお兄様の大切な遺品であることが、その小説の存在からも伝わってきました。

エコミューズでは、この本箱をかつての西淀川に触れることのできる展示品として活用していこうと計画しています。

## 韓国から続いて訪問 エネルギーな司法修習生と 明るく元気な高校生たち

7月、8月は韓国からの来館者が続きました。1組目は7月5日の司法修習生のグループ15人。いつもは屋内での講義が多いのですが、西淀川の街を歩いてみたいという要望があり、エコミューズ見学後、大野川緑陰道路、姫島神社、公害検査センターと、見所ダイジェスト版のフィールドワークをおこないました。



高校生たちでエコミューズが元気いっぱい

2組目は女子高校生たち5人。日本の大気汚染の現状や市民の取り組みについて学ぼうと、ソウル市のグローバルリーダー養成事業として来日しました。日ごろから「あおぞらプラン」でいっしょに活動している大阪府立西淀川高校の生徒たちと先生方も参加し、にぎやかな交流となりました。

## 西淀川地域研究会の記録づくり テープおこしの有償ボランティア募集中

西淀川地域の歴史を掘り起こしてきた「西淀川地域研究会」。2001年から7年間、34回開催してきました。様々な立場の方々に、いろいろな視点から見た西淀川の話を聞いてきました。おかげで、新たな西淀川の側面を知り、所蔵資料の背景を知ることができました。

しかし、聞き取りした内容を文字として記録していないため、研究会に参加していない人に情報をお伝えすることができて



カセットはたくさんあります

いません。そこで今年度から、研究会のテープおこしを開始しました。テープおこしのお手伝いをしてくれる方を探しています。エコミューズにご連絡ください。

※テープの録音時間30分につき3,000円





# 所蔵資料紹介

## 14 西淀川公害裁判記録

### 読んで面白い 証人調書



「裁判について調べたい」と思っても、何から手をつけていいのかわからないくらい、裁判の書類は色々あります。その上「訴状」「準備書面」「書証」「証人調書」「判決」など、聞いたことのない言

葉が並びます。

今回は「証人調書」とは何かを解説します。証人とは、裁判所から報告を命ぜられた第三者で、証人調書はその人の法廷における発言記録ということです。証人の証言によって、裁判の争点だけでなく、証人の学術上の見解、学問に対する考え方や姿勢にいたるまで明らかになります。

証人調書は法廷でしゃべられた口語体そのままに記録されていることから、裁判官とのやり取りだけでなく、息遣いや切迫した様子など、法廷の空気まで



昔の証人調書は手書きです

感じることができます。論文ではわからないダイナミズムや、証人となった学者の人柄さえも知ることができ、読んでいて面白い資料です。(林)

### やかた 館 訪問記

その13.  
「なるほど」がいっぱい  
インスタントラーメン発明記念館  
大阪府池田市満寿美町8-25  
<http://www.nissin-noodles.com>

名前からして、何かありそうな「インスタントラーメン発明記念館」。今や私たちの周りにあふれているこの食品の誕生秘話がわかります。1958年にインスタントラーメンを発明した安藤百福(ももふく)さんが、当時、日夜研究にはげんでいた小屋の実物大のレプリカからはじまって、模型やクイズ、歴代の商品パッケージなど、たのしい展示が続きます。



エントランス



わおー。巨大カップヌードル

思わず「なるほど、そんな工夫があったのか!」と驚いてしまいます。自分でオリジナルのインスタントラーメンを作るコーナーや食べられるコーナーもあります。見て、聞いて、触って、感じて、味わって・・・などなど、多くの要素が満載でした。(鎗山/2007年7月12日訪問)

### \*お知らせ\*

第35回西淀川地域研究会  
(エコミューズ主催)  
公害裁判をささえた井藤士さん  
西淀川公害裁判 提訴期の  
思い出  
日時●9月13日(木)  
PM6時半~8時半  
報告者●島川 勝氏(大阪  
市立大学教授)  
会場●エコミューズ  
資料代●200円  
公害患者と二人三脚で大  
企業と国を訴えた弁護士  
の話を通して、西淀川公  
害裁判を振り返ります。  
要申込

【展示】西淀川図書館  
西淀川の自然と交通をマ  
ップで診断  
くせみのぬけがら&自転  
車マップ  
期間●9月1日~  
10月31日  
企画制作●あおぞら財団  
エコミューズ  
場 所●西淀川図書館(大  
阪市西淀川区御幣島1-  
2-10)  
時間●火曜~金曜日  
10時~19時  
土曜日・日曜日  
10時~17時  
休館日●月曜日、祝日、毎  
月末日

今年の夏に子どもたちが  
調べたくせみのぬけがら。高  
校生と取り組んでいる区  
内の自転車マップづくり。  
西淀川の自然と交通をも  
つて身近に感じてみよう。  
ボランティア隊  
「Think!ウ★」募集  
あなたも「エコミューズ」に  
入っちゃおう!資料整理や  
展示、イベントの手伝いなど、  
活躍の場がいっぱいです。  
交通費●実費支給(上限  
1000円)  
どうぞお気軽にお問い合わせ合  
わせください。

編集後記 『資料館だより』はスタッフが手分けして原稿を書き、パソコンのソフトを使ってレイアウトし、事務所の輪転機で印刷しています。まさに手づくり。もう少しきれいにしようと、本号は今までは違うソフトを使ってみました。こないだレイアウトを変えたばかりなのに、また少し変わってしまった…。そして、これからも変化していくかも。どうぞそこは「進化するニュースレター」として、見守ってください。

資料館だより No.14  
2007年7月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属  
西淀川・公害と環境資料館  
(エコミューズ)  
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1  
あおぞらビル5F(〒555-0013)  
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885  
Email: webmaster@aozora.or.jp  
<http://www.aozora.or.jp/shiryu/>



### エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください  
開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)  
10:00AM~5:00PM [要予約]  
利用●図書の出し出し期限は2週間  
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ